

広報

かわにし

(毎月10日発行)

平成6年 4/10 No.428

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き	
— 4月1日現在 —	
男	4,310 (-17)
女	4,397 (-14)
計	8,707 (-31)
世帯数	2,217 (-6)

()は前月比較



雪はともだち 川西雪まつり

“雪はともだち”をうたい文句に、地域住民の直接参加による『川西雪まつり』が3月5日・6日と実施され、2日間でおおよそ6,500人が集い、楽しみました。このまつりも今回で8回を数え、一大イベントとして町の人たちの中に定着しています。

5日の前夜祭はあいにくの雪。しかし、集まった人たちは、舞台上で繰り広げる催し物や夜空をキャンバスに描く雪中花火に、大満足をして拍手を贈っていました。

☒ 休日救急医

4月10日	国保診療所(高原田)	☎ 68-2034
	(クリニック川西)	
17日	中条病院(中条)	☎ 57-3018
24日	富田医院(神明町)	☎ 52-3269
29日	池田医院(本町西)	☎ 52-2581
5月1日	庭野医院(寿町)	☎ 52-2711
3日	大坪医院(四日町)	☎ 57-6100
4日	大島医院(川原町)	☎ 52-2957
5日	至誠堂医院(西浦町)	☎ 52-3276
8日	第2藤巻医院(上野)	☎ 68-2018

議会報告

三月二日から始まった第二回町議会定例会が、二十四日間の全日程を終わり、二十四日に閉会しました。

二日、町長の施政方針演説と新年度予算の提案説明がありました。以後、各常任委員会の調査を経て、二十四日に、平成六年度川西町一般会計と七つの特別会計などが成立しました。南雲町長の平成六年度施政方針から、その概要を紹介します。



農業集落排水事業管路工事 (岩瀬地内)

生活環境対策

川西町が、平成六年度に取り組む主要な施策と予算の概要について申し上げます。

平成六年度は、まちづくりの基本的指針であります。第四次川西町総合開発計画後期基本計画の三年次にあたります。町民一人ひとりが、この町の良さを自覚し、町づくりのために、積極的な対話と活動に参加するこ

とを基調とした「今創ろう新しい川西ものがたり」の仕上げに入る年度であります。

このことを踏えた、平成六年度予算編成については、平成五年度に引き続き、主要事業へ財源の効率的重点配分で取り組んだところであります。平成六年度の主要な施策について概要を申し上げます。

まず、六年度も下水道整備の一層なる促進を掲げ、これに取り組む所存であります。

集落排水事業では、五年度に着手した仙田地区において、い

よいよ処理場工事が二か年の予定でスタートします。これに管路工事を合わせた事業費は六億五千六百万円となり、同地区の事業展開はピークに入ります。

一方、昭和五十九年に供用開始した上野地区の処理場については、処理能力アップの必要があり、一億五千万円の事業費を投入して改造工事を実施します。千手地区の特環下水道事業については、妻有大橋を経て十日町市の下水処理センターまで、三千三百メートルの管路工事を主体として実施します。事業費

保健医療福祉の対策

し、水洗便所の改造についても個々出費を伴います。さらに、工事施工箇所はそのほとんどが公道と宅地内であり、住民の皆さんから下水道整備の特殊性を十分ご理解いただき、計画どおりの工事進行をご協力申し上げます。

このほか生活環境対象としては、新たに環境保全監視員の制度をスタートします。これは、

一向に後を断たないゴミの不法投棄に対して、町としても監視員をして直接的な取り組みを展開するものであります。また、今まで継続して観測してきた悪臭モニターのデータを基にして、施設整備や管理状況を現地において確認し、悪臭源を断つよう

に図ってゆく悪臭パトロール。この二つを新規事業として進めてゆきたいと考えています。

まず、保健医療面では、診療所の木曜日休診を新年度から解消します。また、五年度から開設しているリハビリ教室について、開設日数の増加と内容の一層の充実を考えています。

福祉の面については、特別養護老人ホーム「あかね園」の入所開始と同時に、併設された在宅介護支援センターが開設します。だれでも気軽に相談できる施設として、二十四時間対応の窓口体制をもって、これからの

在宅福祉推進を濃密なものにしてゆきたいと考えています。

児童福祉面では、現在の保育料基準を何とか下げたいと努力しているところであり、少しでも親の保育負担を軽減して「地域の宝」である子供たちが増えることを念じています。当町でも独自の軽減措置に取り組み、国の基準に対して二〇%もの大幅な減額率をもって対処しています。なお一層の改善を図ってまいりたいと考えています。

道路交通対策

現在、県の代行工事として実施している「孫左衛門橋」が、この秋完成の予定となりました。

昭和六十二年度に着手して以来、待望久しい妻有大橋から県道ま

での町道山野田下平線全区間が供用開始となります。これが町の進展に大きな追い風となることを心から期待するものです。

流雪溝整備については、新年

度から千手、上野地区において
県道沿いに整備が計画されてい
ます。このため町ではそれに合
わせ、流雪用水の導水路整備工
事に着手したいと考えています。

産業振興の対策

農政問題

昨年十二月、コメ市場開放を
はじめとする農産物の関税化受
け入れが表明されました。この
ことは、私どもの期待を裏切る
ものであり、極めて遺憾なこと
と受け止めております。しかし
今、町農業が置かれている現状
を自分たちの目でしっかりと直
視することが何より必要である
と考えています。国、県の動き
を十分注視し、「川西町農業」
の進路に誤りのないようしっか
りとした姿勢を貫いてゆかなけ
ればならないと考えています。

農林事業

農業農村活性化長期構想の推
進に向け、川西ふれあいの里づ
くり塾、町生産組織連絡協議会
が中心となり、具体的な行動に
移ってまいります。

ハード面では、上野機械施設
利用組合の農作業管理休養施設

います。新年度からは貸付金利
を引き下げ、新規事業として
克雪住宅普及促進事業に取り組
みます。克雪住宅の新築、改良
に補助金を交付する制度を発足
させる計画で、千三百二十万円
の予算を計上したところであり
ます。積極的な活用をいただ
きたいと思っております。

と廃オガ堆肥施設の整備を、合
わせて六千二十六万円の事業費
で取り組みます。このほか県単
事業として、モチ専用の靱乾燥
調整施設を二棟、共同防除用無
人ヘリコプター一台など、六千
四百五十一万円ほどの事業を予
算化したところであります。

県営防災ダムについては、坪
山・長福寺ダムとも五年度末の
工事進捗率は五四％となってい
ます。長福寺ダムについては、
いよいよ築堤の事業が開始され
る運びとなっております。

同じく県営のかんがい排水事
業については、中央管理棟と土
地改良区の事務所の合築工事に
着手する予定になっております。
鉄筋コンクリート二階建て延べ
六百五十四平方メートル、事業
費一億七千七百万円で建設する
ものであります。

また、きのこの里づくり対策



今秋完成予定の孫左衛門橋

として取り組む特用林産産地化
促進事業では、ナメコ生産施設
の建設を予定しています。

商工業対策

商工会館の改装工事に財政援
助するとともに、町商業振興
構想の具体化を進めるなかで、
商工会に対する魅力ある商店街
づくり事業などの援助事業の方
向付けを明確にしていきたいと
考えています。

観光・レクリエーション事業

県の広域観光拠点づくり整備
事業の指定を受けて、中子グリ
ーンパーク内に、休憩施設・広
域観光案内などの機能を備えた、
「観光交流会館」の建設を予定
しているところであります。

また、川西町が「いで湯の町」
となる可能性を再度詳細に調査
すべく計画しています。調査の
結果、有望な湯脈が見つかりま

したら、引き続き掘削に取り組
みます。

みたいと考えています。

生涯学習の対策

学校教育面については、昭和
三十九年三月に建設以来すでに
三十年が経過した川西中学校の
体育館を、危険改築事業として
建設いたします。その内容は、
鉄筋コンクリート構造、高床式
の二階建てとなります。なお、
ピロティ部分は三十メートル×
十八メートルの多目的広場を設
け、冬期間でも軽運動が土の上
でできる町では初めての施設が
完成することになります。建築
面積は、ピロティ部分を含めて
四千三百四十二平方メートルと
なり、現在の千五百九十四平方
メートルをはるかに超えること
になります。次代を担う子供た

ちのためと地域における現状の
公共施設機能の補完を合わせ、か
つ、将来を見据えて、充実した施
設内容にと設計段階から企画し、
予算計上したものであります。
生涯学習事業については、生
涯学習推進計画に基づき、町民
一人ひとりが充実した学習活動
ができるよう努めてまいりたい
と考えています。芸術文化活
動も拡充を図ってゆきたいと存
じます。

例えば、優れた芸術文化の鑑
賞機会を提供することも計画し
ており、町出身の彫刻作家藤巻
秀正先生の作品展を予定してい
るところであります。

地域振興対策

たいと考えております。

地域の活性化事業の一環とし
て、五年度から発足した「かわ
にし21委員会」からの提言を受
けて、「地域活性化プロジェクト
支援事業」を新たに発足させた
いと予算計上いたしました。

平成八年度からは、新しく第
五次川西町総合開発計画に入り
ます。そのための策定作業が六
年度から始まります。

これは、集落単位やグループ
などで自らの考えを実践をして
いただく事業であります。個性
豊かな魅力ある地域の取り組み
を町では積極的に支援してゆき

いよいよ二十一世紀に向けた、
創造性豊かな町づくりを積極的
に進めていく必要があります。
このため、今後とも献身努力を
してまいります。

総括 質疑

三月議会定例会は、二十四日全日程を終了し、閉会しました。今回の議会の中から、二十三日に実施された、総括質疑の概要をお知らせします。(質問順に掲載)

どう進めるか中子開発

上村晴夫 議員

(1) 中子開発・温泉開発の考え方は。

(2) 観光交流会館の建設位置・内容・規模・施工時期と、深井戸掘削の位置・規模は。また、中子開発・温泉開発はどのような方向で調査・委託を見込んでいるのか。節黒城跡との連絡道も含めて調査できないか。

(3) 中子団地にある農地やグラウンドが、今後の中子開発にどのように関連するのか。

南 雲 町長

(1) 中子台地にはファミリールゴルフ的な施設を集積した、観光レクリエーションゾーンの建設を、節黒城跡周辺には、山小屋風別荘やオートキャンプなどを配備した宿泊ゾーンを整備して、この二つのゾーンを連絡道で一体的に結ぶことにより、滞在可能なファミリール向け観光レクリエ

ーション施設として地域の活性化を図っていききたい。

温泉開発については、まず温泉湧出の可能性を調査し、特定地点が得られたら、その中から最も町の活性化の核として活用できる個所を選んで掘削を実施。量、温度、泉質を見極めた上で、利用計画の策定をしたい。

大平開発課長(2)(3) 観光交流会館は、高床落雪式・木造平屋建・延べ四百三十平方メートル、ナカグリーンパーク中央駐車場北側の、突き当たった左側の荒地地部分を予定。軽食が提供できるレストランと厨房、インフォメーションコーナー、シャワー室、ミーティングルームなどを備え、六月上旬に着手して、十一月中に完成させたい。

深井戸ボーリングは、二面ある野球場の北側野球場で、ゴルフ練習場側の山際を考えている。口径二百五十センチ、三百センチの掘削を想定している。

委託料は、平成七年度に予定しているショートゴルフ場、ターゲットパードゴルフ場、釣堀、駐車場などについて調査、測量、実施設計を委託するものである。

また、節黒城の観光開発については、中子と一体的な観光レクリエーション機能を作り出してゆきたいと考えている。そのためには、二つのゾーンを結ぶ連絡道の開削は不可欠であるの

落雪式がなぜ融資対象除外か

戸田哲次 議員

① 道路新設改良に対する地元負担金の考え方を伺いたい

② 克雪住宅貸付資金において、落雪式を融資対象から除外した理由は

南 雲 町長

① 基幹的な町道については、第

柳 藤作 議員

(1) 地方交付税の高い伸び率を示した当町予算、減額される要因はないのか。

(2) 昨年の冷夏による農業所得の落ち込みや、法人所得の減税と、国による減税関連について聞き

で、消雪後早い時期に現地踏査をやりたい。

野球場は、今回の開発の中に取り込んで計画しており、個人の農地についても、一部町有地との入れ替えをお願いして、タバコ耕作に支障のないように配慮していきたい。そのほか、現在荒地地となっている個人地について、賃貸借による土地の確保を予定している。

一次的な整備が終了したと受け止めており、受益者負担廃止の機運は熟しつつあると判断する。しかし、平成六年度は大事業山積というような財政事情にもあり、実施を見合わせたという状況をご理解賜りたい。

② 貸付対象にしている経費が、雪下ろし型の屋根と比べて工事にほとんど差がないこと、敷

新年度予算編成で懸念

南 雲 町長

(1) 地方交付税の見積りは、五年度の交付実績をベースに算定した。

(2) 昨年の冷夏による農業所得の落ち込みや、法人所得の減税と、国による減税関連について聞き

たい。

(3) 国の制度改正による医療、診療報酬、薬価基準への影響は。

南 雲 町長

(1) 交付税の見積りは、五年度の交付実績をベースに算定した。

(2) 農業所得標準作成上では、作況指数一〇五が八九にダウンしたことを受けて、十アール当たりの所得金額が一四・四％の減



過去5年間で43件の利用があった高床落雪式住宅

地の大きさの条件が、住宅密集地では確保することができないこと、過去5年間で利用割合がかなり低いことから、落雪式を克雪住宅から除外しても、今後の克雪住宅の普及促進には支障がないものと考えている。

また、耐雪式や融雪式を六年度から貸付利率を〇・五％引き下げ、より一層ご利用いただける条件づくりをしている。

区の集落排水事業に係る国庫補助金が交付税に切り替わった分が、主な変動部分である。単位費用の伸びはゼロとして基準財政需要額を算定しており、注意を払った結果であることをご承知いただきたい。

(2) 農業所得標準作成上では、作況指数一〇五が八九にダウンしたことを受けて、十アール当たりの所得金額が一四・四％の減

となり、予算上でも減収を余儀なくされた。また、市町村民税の減収の最大要因は、法人税割の極端な減収によるもので、町内およそ百の法人が軒並みダウンしている状況である。

また、国で実施する減税策における町への影響は、およそ四千万円、四千万円くらいと思われる。なお、この減収分については、特別に手当される起債によって補てんされることになっている。

(3) 診療所における影響は、二分で試算すると、診療報酬では五・七％程度の増点が見込めるものの、薬価基準引き下げにより四・七％程度の減点となる。合わせると、二・七％ていどの歳出増が考えられる。

今回の改定について、まだ細部資料が入り手されておらず、国保・老保などの会計において影響がまだつかみきれていない。今後の推移を慎重に見極めて、健全財政に努めてまいりたい。

嫁・婿対策をより積極的に

押木 貢 議員

① 六年度予算では、嫁・婿対策事業が減額になった。より積極的な施策を望む

② 町の予算の投資的経費においては、町外業者への工事委託依存度が比較的高い。町民が町づくりに参画する基本としては、これでのよいのか

南 雲 町長

① 減額は、中国花嫁家族の招へい事業が、中国政府の国際結婚に対する厳しい対心などにより、ビザの取得が不可能となり、一時中断せざるを得ない状況となったため、招へい事業に要する予算を減額したものである。再開できる状況になったら、あらためて実施してまいりたい。

② 現在、「町建設工事指名業者選定等に関する要綱」に基づき、

地域振興に「道の駅」整備

金子澄男 議員

地域振興と広域的な取り組みをするため、国道403号と252号の交差する付近に、JIAと協力して、川西道の駅の施設

を整備できないか

南 雲 町長

農協の本来の営業活動を通して、十分に持ち味を発揮してもらえるので、機が熟せば大いに

可能性があると思っている。

また、波海川流域の市町村、国道403号や252号沿線で、それぞれの市町村がお互いの共通テーマを掲げながら、地域の特性を生かして、地域づくりをすることは、広域的な地域間の連携によって、相乗効果が期待

悪臭公害対策の基本はいかに

高橋 重 議員

① 悪臭公害対策にかかる基本的な考え方は

② 川西中学校旧体育館施設は、処理をどうするか

南 雲 町長

① 悪臭対策については、長期にわたり国県機関と協議する中で、業者に対する指導をしてきた。しかし、いまだその対策の決め手になるものがないのが現状である。畜産業も町の重要な産業の一分野でもあり、その対応の

定住人口の増加対策を望む

北村公男 議員

街路事業、土地区画整理事業、町営住宅建設用地の確保などによる、人口定住対策に対する取り組みと考え方は

南 雲 町長

街路事業については、六年度は都市計画決定の周知と、事業を理解してもらう説明会、先進地視察などの啓蒙活動を積極的

難しさも多いところである。そんな中で、最近、バイオ・サイクル農法による有畜複合農業体系への移行も進められており、極めて有効なものと考えておる。業者の方でもこの対策を検討していきたいという姿勢がうかがわれており、町としても機運を大事に育てていき、お互いに相対立することを主張することなく、解決の方法などを探っていきたい。

② 基本的には取り壊しを行い、使用できるものは再利用するよう努めたいと思っている。



診療所での診療のようす

関係者を前にあいさつする
南雲町長



町立幼稚園を閉じる

昭和四十一年四月に、保育園児の急増に伴い設置された町立幼稚園が、幼児数の減少、位置の逼在による不公平感、幼児教育の一元化などの理由から、十八年間の歴史に幕を閉じることになりました。卒園児数は、千六百五十人を数えています。

三月二十二日、最後の卒園児三十五人とその保護者が見守るなか、南雲町長、金子教育委員長ら関係者が出席して、幼稚園閉園記念式典が実施されました。保護者代表からお別れの言葉が述べられ、最後に園児全員で合唱して、お別れをしました。



地域の代表がお別れの言葉を述べました

明治七年十一月、仙田校附属白倉校として創立、以来、一九一九年にわたって千五百三十三人の卒業生を送り出してきた町立白倉小学校（木村孝太郎校長・児童六人）の閉校記念式が三月二十六日、同校で挙行されました。

式典会場となった体育館には、卒業生や住民、来賓らおよそ三百人が駆け付け、新しい白倉の発展を願い、同小の思い出を胸に刻みつけていました。

地域を代表してお別れの言葉を述べた田中茂さんは、先人たちの労をたたえたあと、「ピク時には、小・中学生合わせて百五十人もの児童・生徒が、体育館を所狭しと走り回っていた姿を昨日のように思う。万感胸に迫るものがある。押し寄せる過疎の波がこのムラにも達し、その波には勝てなかった」と胸中を語っていました。

式典終了後、同小校庭では、南雲町長揮ごうによる「白倉校跡」の記念除幕式が挙行され、関係者が玉串を奉奠しました。

に進めたい。早期着手に努めるが、具体的な年度などをお示しできる段階ではない。関係の皆様方とじっくり協議した中で定めなければならぬ問題である。

現在ある町営住宅では、需要にこたえることは難しく、常に、十人程度の入居待機者を抱える結果になっている。特に、入居を希望する人は若い世代が多く、この需要にこたえることは、人口減少の歯止めにも大きな効果があるものと考えておる。

こうした背景の中で、六年度は町営住宅建設用地の確保にメドをつけたいと考えておる。二棟の建設用地を基本に、既存の十一戸の町営住宅の集合も念頭

におき、三千平方メートルの用地を確保したいと考えている。

大塚建設課長 山野田土地区画整理事業は、当初二十五分の規模を、平成四年に入って六・九分に規模を縮小して設立準備委員会を組織して進めてきた。

昨年八月のヒアリングでは八〇%が同意をした。しかし、百%の同意が得られない状況では事業着手は困難であり、準備委員会では、地権者総会を開き、この事業の終息をすることになった。しかしながら、今後、六・九分の規模を縮小して、引き続きこれからも本地区を優良な宅地供給基地として、事業化に向けて推進を図っていききたい。

21世紀の町農業農村の姿を求めて 町農政審議会が長期構想を答申

二十一世紀を展望した町農業農村のあり方について、町農政審議会専門委員会として設置された「川西ふれあいの里づくり塾」を中心に策定作業を進めてきました。この度、その将来像を描いた「町農業農村活性化長期構想」がまとまり、三月十八日、町農政審議会（小林正人会長・委員20人）から南雲町長に答申されました。

構想では、今後とも町農業の基幹作目を稲作と位置付け、その生産の担い手は生産組織であ

ることを基本に、まず、既存生産組織を法人化し、旧町村を単一町一生産組織を構築するといふものです。こうした組織強化により、冬季間就労の経営多角化を推進し、そこで働く従業者の年間雇用、他産業と同等以上の所得・休日などを確保しようとするものです。また、構想実現に向けた具体的な施策も盛り込まれています。

小林会長は、構想実現のためには農家の大きな意識変革が必

要だ。農家の勇気ある決断と関係機関の強力なご支援ご協力により、着実な前進が図られるよう期待する」と述べていました。



小林会長（左）から南雲町長に答申書が手渡されました

一一九九年の歴史に幕

地域活性プロジェクト 支援事業がスタート

町では平成6年度から、町内の各種団体やグループがそれぞれの地域の特性・資源などを活用して行う、個性的で魅力ある地域づくり事業に対して「地域活性プロジェクト支援事業」として助成し、住民自ら行う地域づくりを推進します。

☆事業申請は5月23日まで☆採択件数は4件程度の予定☆

★事業実施団体などの範囲

地域づくりを目的に組織された構成員5人以上のグループや、各集落、PTA、老人会、青年会、芸能保存会などの団体を助成対象とします。

★事業採択の基準

- ①地域固有の歴史、文化、景観、産業、その他の特性及び資源を活用し、又は新たに創造することにより、地域の魅力と活力の向上を図る事業であること。
- ②補助対象事業費（補助対象となる事業経費の合計）が10万円以上の事業であること。
- ③団体などが自ら行う事業であって、原則として単年度で完了する事業であること。
- ④宗教行事や宗教的色彩の強い祭具・備品（御輿など）は対象外であること。
- ⑤国・県及び町の他の補助金、負担金などを受けて実施する事業は、原則として対象外であること。

★補助対象となる事業経費

助成対象となる事業経費は、主に設計管理などの委託費、工事請負費、備品購入費、消耗品費、印刷製本費、会場・物品などの借用料、会議茶菓代、講師謝礼金、通信運搬費、物品製作費、調査・研究などの旅費、原材料費などです。

★補助率などの基準

- ①補助率は補助対象事業費（補助対象事業経費の合計）の60パーセント以内。（特例として町が必要と認めた事業は80パーセント以内まで認める）
- ②補助金交付限度額はハード事業で200万円まで（特例は265万円）、ソフト事業で50万円（特例は65万円）までとする。

★たとえばこんな事業が対象に

- ①ハード事業の一例
 - ・ショウブ園の造成や集会所周辺に花壇を設置するなど、花いっぱい事業。
 - ・移動式屋台の製作。（各種イベントなどの屋台店として利用する）
 - ・夏季イベントでの雪活用事業。（雪保存場所の整備や保存シートの購入）
 - ・部落の入り口に、部落をPRする大看板を設置する事業。
- ②ソフト事業の一例
 - ・村づくり基本計画策定事業。（意識調査・解析・計画樹立など）
 - ・手作りの川西のど自慢大会の企画実行。
 - ・川西版ギネスブックの企画実行。
 - ・落語などの演芸会、講演会などの企画実行。
 - ・住民が楽しく参加できる、ユニークなイベントの企画実行。

詳しくは開発課振興係までお問い合わせください
☎68-3111（内線32） ・ 有線2133

第8回

川西

河まつり

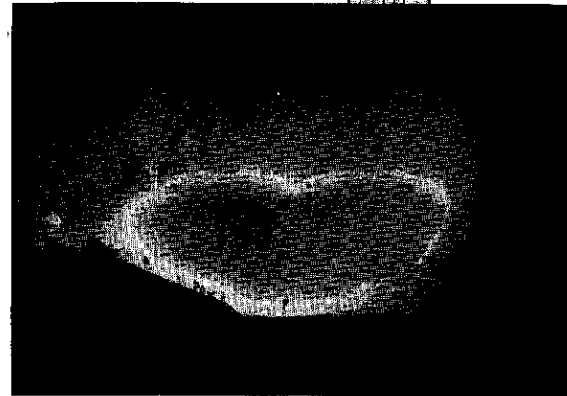
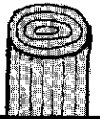
カメラ ルポ

三月五日、六日と第八回川西雪まつりが開かれました。前夜祭は、総合体育館脇を会場に、エアロビクス、少年ダンス甲子園、さいの神、ミスかわにし発表、海外旅行のかかった太く×クイズなどが実施されました。また、二十四店の屋台の前ではお客がごった返し、催しを楽しんでいました。

六日は、魚万寺スキー場特設会場で雪上モトクロスや仮装人間はん馬大会、雪上ブレーラント、ファイナルを飾る燃やせハトなどを実施。辰塚野球場では雪上ソフトボール大会がありました。ちなみに、「二三間」ではおよそ六千五百人の人たちが参加してくれました。

まつりの中から、その一部をカメラで追ってみました。

まつりのフィナーレを飾る「燃やせハート」。とても幻想的な雰囲気でした



▶ミスかわにしも、まつりに一役（左から、去年ミスの青木さん、星名さん。今年ミスの星名（和）さん、星名（薫）さん）



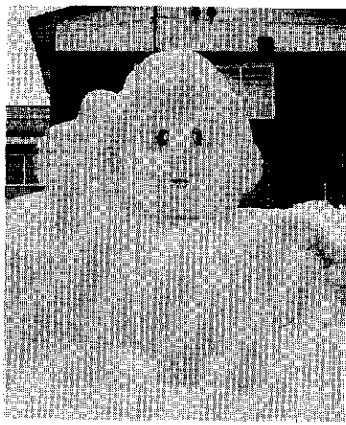
▲ゴム、チューブのすべり台では大勢の家族連れが楽しみました



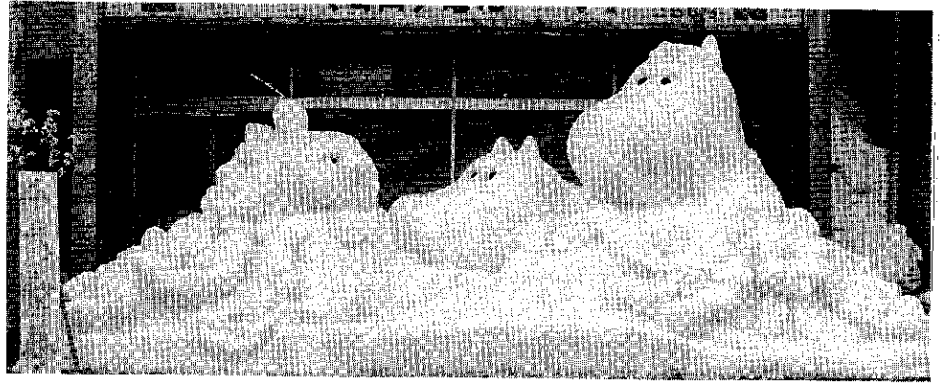
19チームが参加して、パフォーマンスやタイムを競いあった「仮装人間ばんば大会」



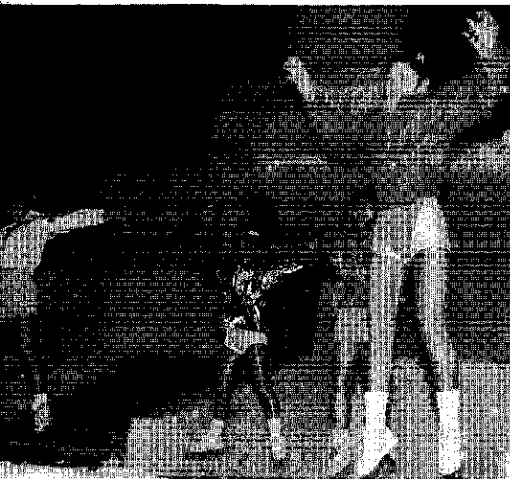
▲11チームが参加して楽しいパフォーマンスを見せてくれた少年ダンス甲子園



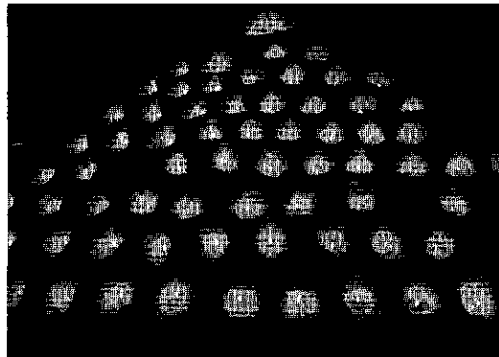
▶「雪像づくり大作戦」で雪まつり実行委員会会長賞を受賞した作品



▶10部門、75台が追力あるレースを展開した雪上モトクロス大会



▲エネルギッシュなエアロビクス



▲前夜祭会場入り口には、キャンドルがみんなを出迎えてくれました



▲6チームが参加して熱戦を繰り広げた少年雪上サッカー



選手宣誓にも力が入ります。雪上ソフトボール大会には男女9チームが参加しました



キネとウスでついたおもちは最高です

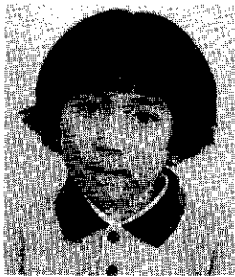
千手小学校 (36人)

期待
4月から一年生
不安

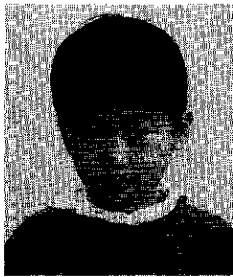
敬称略・順不同(①氏名
②住所③保護者の氏名)



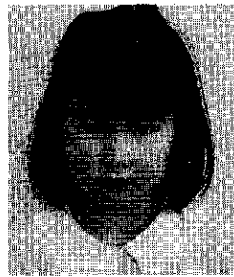
① 平野詩織
② 四郎兼
③ 勝也



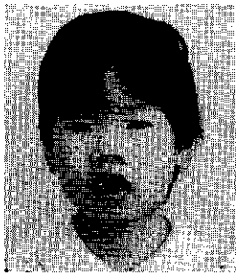
① 小林香菜子
② 木島
③ 大三夫



① 北村竜一
② 山野田
③ 力世



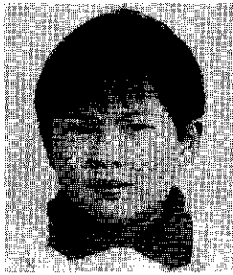
① 丸山由香里
② 木島
③ 文一



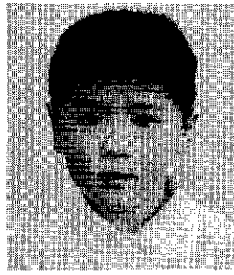
① 太田真梨子
② 中央町
③ 正



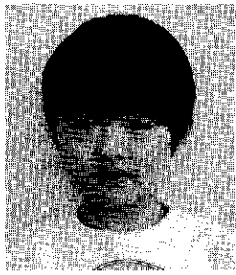
① 星名友貴
② 高原田
③ 百合子



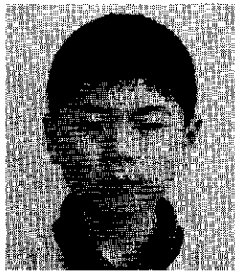
① 斎藤陽子
② 朝日町
③ 茂和



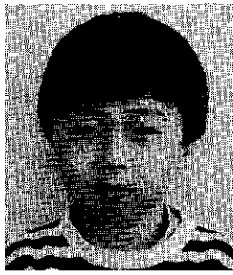
① 数藤僚太
② 沖立
③ 義之



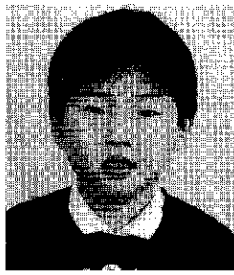
① 久保田裕紀
② 栄町
③ 広二



① 五十川 裕
② 沖立
③ 雅幸



① 南雲 革
② 寺尾
③ 浩



① 高橋淳一
② 中屋敷
③ 賢一

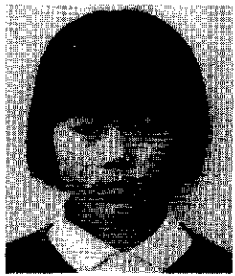


① 桑原勝太
② 栄町
③ 秋男

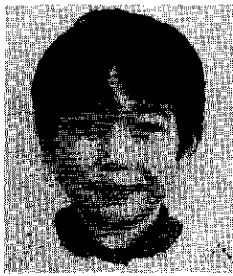
四月五日、町内の各小学校で、入学式がありました。今年の一
年生は、四校合わせて82人(男
子44人、女子38人)です。
各学校の一年生を紹介します。



① 工藤彩佳
② 発電所通り西
③ 寿彦



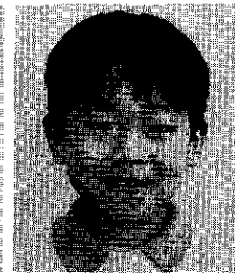
① 高橋彩乃
② 伊友
③ 武



① 平野実穂子
② 四郎兼
③ 清志



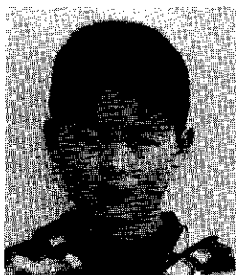
① 星名育美
② 伊友
③ 恒雄



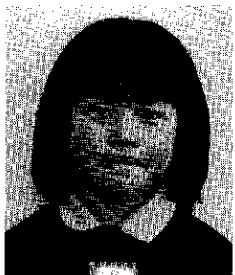
① 押木裕弥
② 発電所通り西
③ 浩



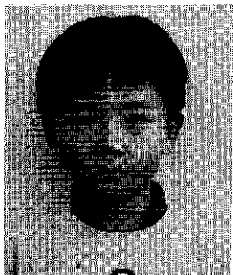
① 中条愛美
② 坪山
③ 孫幸



① 星名大地
② 木島
③ 弘行



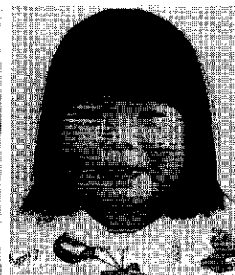
① 中村真弓
② 坪山
③ 公一



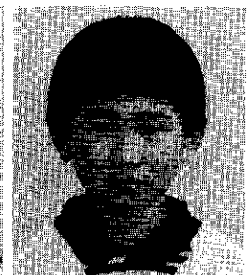
① 中村 旭
② 坪山
③ 卯一



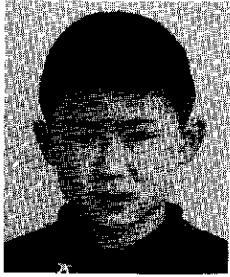
① 高橋なつ紀
② 上町
③ 俊一



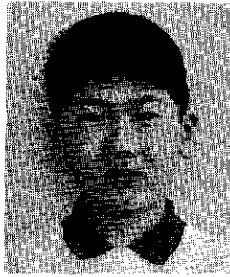
① 星名美穂
② 伊友
③ 藤一



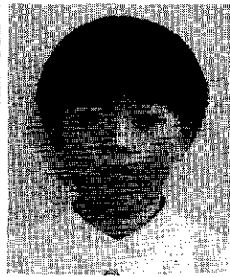
① 南雲啓太
② 中屋敷
③ 守啓



① 小林智之
② 中屋敷
③ 敏之



① 斎木悠矢
② 神社町
③ 鉄也



① 高橋敦史
② 坪山
③ 伸一



① 星名優佳
② 伊友
③ 和幸



① 松崎さおり
② 発電所通り西
③ 慎一

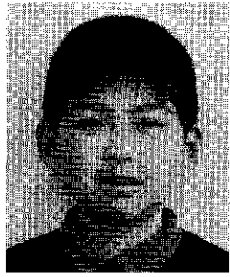


① 登坂泰子
② 栄町
③ 光国

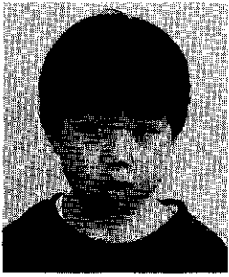
上野小学校
(14人)



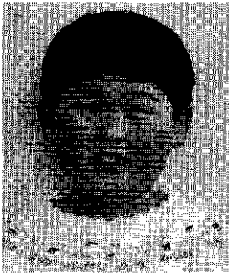
① 根津崇臣
② 中屋敷
③ 和浩



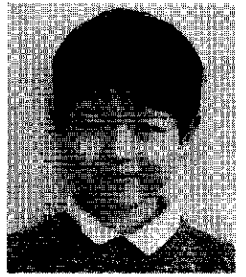
① 高橋明彦
② 坪山
③ 郁男



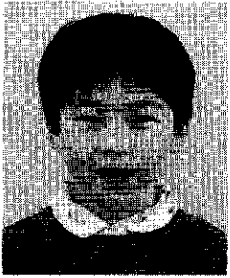
① 清水健太
② 栄町
③ 昌昭



① 川崎正美
② 栄町
③ 正義



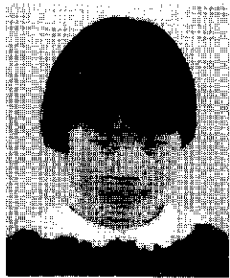
① 中村卓央
② 坪山
③ 亨



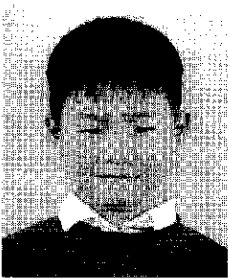
① 清水琢磨
② 上野
③ 賢司



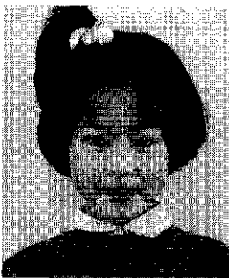
① 金子恭平
② 上野
③ 孝



① 押木 霞
② 元町
③ 仁



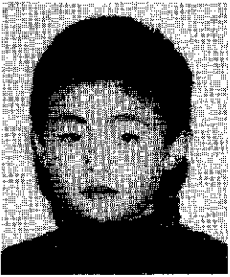
① 丸山秀基
② 新町新田
③ 泰雄



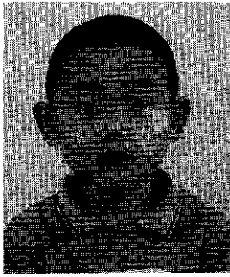
① 押木瑞紀
② 元町
③ 美代治



① 丸山芽衣子
② 新町新田
③ 正樹



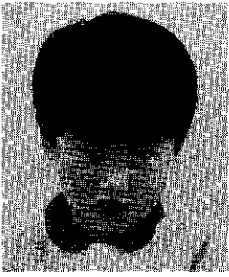
① 高橋大輝
② 小根岸
③ 大



① 上村研史
② 上野
③ 清



① 水品百合子
② 新町新田
③ 正幸



① 清水佑也
② 下平新田
③ 克也



① 小川絢香
② 上野
③ 陽一



① 中島都子
② 上野
③ 勝志



① 星野友美
② 野口
③ 久夫



① 村越隼也
② 野口
③ 益男

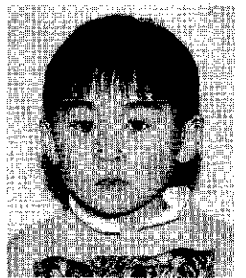


① 木村 萌
② 仁田
③ 一浩

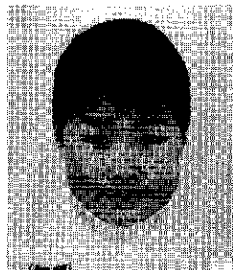
橘
小学校
(18人)



① 内山雅隆
② 下平新田
③ 幸三



① 高橋拓朗
② 三領
③ 優



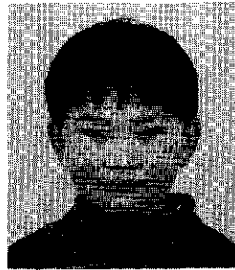
① 山口歩樹
② 仁田
③ 守一



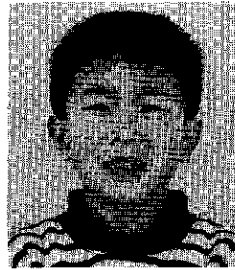
① 高橋由貴乃
② 仁田
③ 直美



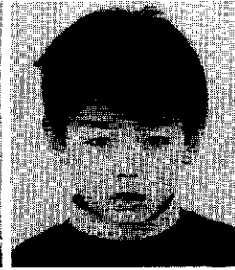
① 山家紗恵子
② 木落
③ 利光



① 渡辺高志
② 仁田
③ 直子



① 永井裕貴
② 木落
③ 健三



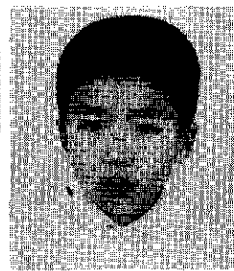
① 村越大樹
② 野口
③ 仁



① 山本奈央
② 仁田
③ 忍



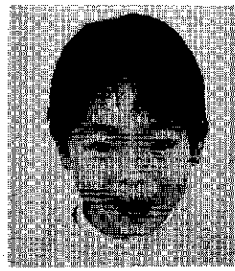
① 田中裕美子
② 仁田
③ 了介



① 須藤雅人
② 野口
③ 幸男



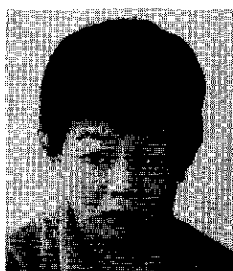
① 中村琴美
② 仁田
③ 吉美



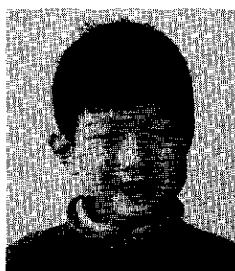
① 丸山洋祐
② 原田
③ 三義



① 涌井愛子
② 仁田
③ 昭夫

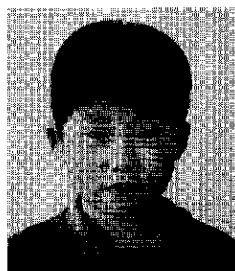


① 小林儀樹
② 中仙田
③ 勝幸

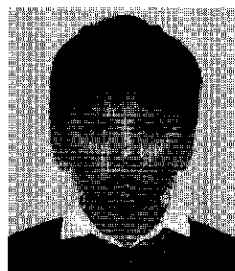


① 増田勇士
② 室島
③ 利昭

仙田
小学校
(14人)



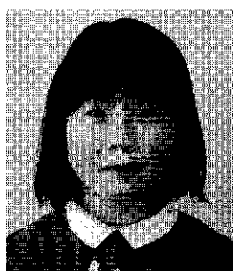
① 中村広伸
② 大白倉
③ 庄平



① 保坂 慎
② 木落
③ 達憲



① 藤巻 猛
② 塩辛
③ 正人



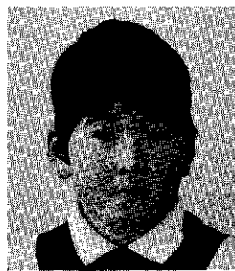
① 南雲 綾
② 中仙田
③ 裕



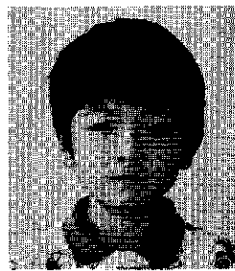
① 増田 悟
② 室島
③ 光行



① 増田紗千
② 室島
③ 裕一



① 登坂政哉
② 岩瀬
③ 正道



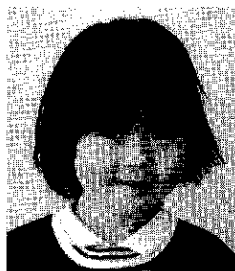
① 樋口陽太
② 中仙田
③ 純一



① 丸山 剛
② 中仙田
③ 基治郎



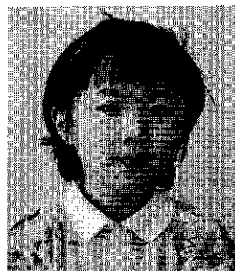
① 高橋恵梨奈
② 中仙田
③ 雅明



① 小林沙友里
② 中仙田
③ 久良



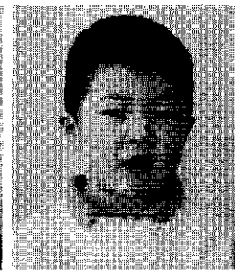
① 川崎有紀
② 室島
③ 弘明



① 茂野彩加
② 室島
③ 宏行



① 齋木愛美
② 小脇
③ 正幸



① 齋喜 裕
② 室島
③ 一男

仙田村の学校問題 ②

岩瀬 金子 幸作

小林政夫氏の回想②

村会の開かれる日は議員衆が徒歩で役場へ集まり、遠い集落の人は泊りがけになった。中仙田には三軒の宿があり、薬師には松永村長の側近ともれる主流派が泊り、宮城屋には大貝・大小白倉・桐山・高倉の実力者が、浜海屋には霧谷・藤沢・大倉のオトトたちが泊った。

ある日の村会でお茶を出していたら、松永村長が議員衆に豪儀なことを言っていて驚いた。「小職がこの村に着任してから村会もかなり開かれたが、皆さんの中にはまだ一度も発言したことのない方が何人かいる。たまに手を上げて某議員のように『便所へやってくれ』という次元の低い発言で、これでは議員の良識を疑われてもしかたがない。質問し、意見を述べる人の中にも、議案の内容をよくのみこんでいない人がいる。村民の声を代弁する議員であるからにはもっと勉強してもらいたい」という厳しい内容であったが、みんながシンとして聞いて

さからう議員はいなかった。

召集令状が来た時

学校問題のさなかに支那事変(当時はそう呼んだ)がおき、駐在所から「動員が来た」と音があつてみんなが緊張した。急いで動員事務室を拵え、二役と兵事係が襟を直し、誰が大君に召されたのかと年次、兵種別の在郷軍人名簿を整えて待ち受けた。仙田村に始めての召集令状は大貝の小川馬作と高倉の高橋兵治と赤谷の星名和吉の三人であつたように記憶している。

駐在所から「動員」の連絡があるのは、不思議なことにもいつも退庁後で、十日町警察署の巡查が召集令状を持って役場へ来るのは真夜中になった。このため、役場の近くに住む小林政太郎・小林徳蔵・佐藤梅作・小林茂吉の各氏を緊急時の非常駆付人に委嘱しておき、電話が無い時代なので音があると駆付人が手分けして村長、助役、収入役、兵事係宅へ告げに走り、三役と兵事係は役場へ来て本署の巡査の到着を待ち構えた。令状を受

領すると直ちに応召兵に届けたが、深夜に起こされた本人や家族は驚いて顔をこわばらせた。雪の降る時は道踏人足を付け、大貝や桐山へ届けて帰ると夜が明けることも珍しくなかった。

童子ヶ島の怨念

ある年秋の朝早く、童子ヶ島の浜海川寄りガケ下の中腹に、役場農業技術員の自転車が落ちていたのを通行人が発見した。仕事熱心なこの技術員は大貝倉へ山百合と人參の出荷を指導に行き、帰りが遅くなって自宅へ戻らず薬師旅館に泊っていた。ところが、翌朝未明に自転車で赤谷へ出掛け、その帰りに、ぬかるむ童子ヶ島の難所を走行中ヨジケテ転落したのではないかということで大騒ぎになった。

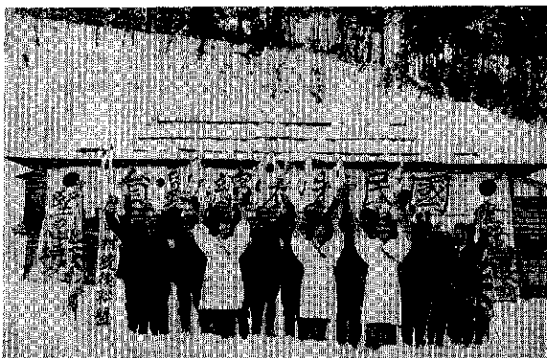
全集落の警防団が出動し、長雨で増水した濁流の兩岸で大規模な搜索が幾日も続けられたが発見されなかった。

宿直の夜に怪奇

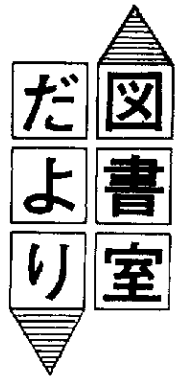
遺体の搜索が続いたある夜、オッカナガリで知られた登坂知良書記が役場の宿直で寝ていたら、真夜中に突然、頭上の白い電気の笠が電球ごと落下してあたりが真っ暗になり、そのとき切なげに男の泣き声が出た。翌朝出勤した職員衆にこの話をしたら、川の底に沈んでいる技術員が「早く見付けてくれ」と頼みに来たのだらうということになり、その晩からみんなが気味悪がって宿直を嫌がり、オレが父の政太郎と二人で幾晩も泊ったがオッカナクテ眠れなかった。数日後、虫が知らせたとしても言うのか、岩瀬の土新田で登坂書記が川底に鳶口を入れて探していたら、背中が妙にザワザワし、フト後ろを向いたら髪振り乱した技術員の腐乱した頭がフワツと浮き上がったので腰を抜かした。その夜、この仏様が夢枕に立ってお礼を述べ、登坂氏は一晩中うなされたという。村は故人を準村葬で弔って業績を偲び、ごめい福を祈った。

悲劇をくりかえすな

仙田村の学校問題は集落ごとに利害得失があつてもめたが、気の毒なのは犠牲になった子どもたちであつた。中仙田校でも赤岩校でも、高等科へ行った人とそうでない者の間には今でもへだたりがあり、親近感がわかない。学校問題であれほど騒いだのに、五十年後の今考えてみても得になったものは何一つ無く、児童、生徒にあたえた心の傷だけが深く残っている。中仙田でもムラが二つに割れ、同級生も相反し、いまだに不仲のなごりが温存されている。童子ヶ島への統合に賛成した川西の衆はやや消極的で大勢並み、川東の衆は何ごとによらず積極的な村民性が係わつて、ドッコイとなるも今でも考え方に相違がある。このさい学校問題の歴史を正しくとらえ、将来もふまえ、悲劇を二度とくりかえさないことが大事だと思ふ。昭和十五年三月三十一日にオレは退職した。意見してくれる人があつたが、五年も勤めて一ヶ月金十五円の給料ではあんまりだと考へての辞職だった。四月から東京の肉屋へ奉公したら一ヶ月二十三円で、自分の小使いを毎月三円残し、あとは全額送金して孝行息子といわれた。



動員が来た仙田村役場 (中仙田・小林政夫さん提供)



話題の政治に関する本紹介

○日本をダメにした九人の政治家
家 講談社 浜田幸一

腐敗政治家を一掃する衝撃の書として、売れている本のトップを記録している。九人の政治家に自らの名も連ねて書いている。実名・実話として「本書を出しても腐敗政治家たちがなお居直るようなら、第二弾を書かねばならない」と述べている。

○郵の論理 光文社

細川護熙・岩国哲人
中央集権体制のなかで、いかに地方からの発想が大切であるかを訴えている。細川護熙氏(現

首相)は、熊本県知事時代に「国が変わらなければ地方から変わってみせる」と。岩国哲人氏(現出雲市長)は、「行政は最大のサービス産業だ」と。地方からの論理を、行政経験を通して具体的に施策を訴えている。

○せいっぱい—半自伝—

朝日新聞社 土井たか子
護憲の立場から、ふだん着の政治をめざした著者(現衆議院議長)のひととなりがかげえ。私のたどった道では、反戦を唱える原点に、白らの神戸大空襲の体験をあげている。

他に次に掲げる本もあります。

○オヤジとわたし 早坂茂二

○なぜ・田中真紀子は叫ぶのか 板垣英憲

○日本改造計画 小沢一郎
○鄙人の発想 矢野学

善 意

(敬称略)

社会福祉に

- 丸山 明 (上 町) 50万円
- 北村フミ子 (山野田) 10万円
- 平野俊幸 (上 町) 10万円
- 白南風社 (中央町) 10万円
- 川西分遣所 (霜 条) 5千円

広報発行に

- ダイヤパレス苗場 1万円
- 登坂博史 (浦和市) 1万円



かわい 俳壇

高崎正風選

涅槃図の大きく下がる堂暗し
幸薄き弟の忌月臘

野口 村越 由喜

嫩初めまづ三度豆まきにけり
風花や村に明りのともり初む

小白倉 江口みゆき

晒し布色とりくく春の雪
悩み事解決したる山笑ふ

高倉 斎木 和人

玻璃越しの梅に遊べる目白見る
ぶんご梅散らして目白去りにけり

綾瀬市 野沢ますえ

赤城山また見上げては麦を踏む
さんさんと輝やく海や目刺干す

練馬区 須藤 遊人

路地裏に畳屋が来て春日日向
丹念に爪切るいとま春日向

足立区 駒形 頼太

一本の柳の目立つ芽吹きかな
裏山に春の小鳥の来たる声

大倉 中条 石平

尼寺の夕べ静かや落ち椿

川西都市計画 4月1日から

用途地域と都市計画道路が指定されました

本紙、平成六年一月十三日号
でお知らせのとおり、川西都市
計画の用途地域と都市計画道路
(街路)が、四月一日付けで指
定されました。

用途地域指定により、都市計

耕してお茶一ぶくの夫婦かな
足立区 涌井ハル子
乳牛の模様の様に残る雪
茶畑に消雪灰を撒きにけり

小白倉 田中 優美

悴みし手をあたためつ、雪払ふ
はてしなき空高々と鶯の舞ふ

田中町 石沢 澄代

雪の中よりほころびぬ雪椿
凍てつきし雪原を子等駆けゆける

仁田 小幡しん女

朗々と巾巾流るる牡丹雪
牡丹雪舞ひるる中を出棺す

霜条 星名 星光

米売場には何もなき彼岸かな
懐しき小鳥窓辺に春を告ぐ

厚木市 川崎 保一

一ノ字となり畦裏に残る雪
寒鱈の切られて口を開きけり

高原田 引間 子舟

子ども等の連れだち来たる涅槃かな
困はれしま、にぼたんの芽の太り

元町 金子 鉄平

むらさきの風に揺れる犬ふぐり
志木市 山田十久二

上野 入沢 はや

野口 村越 幸

枯葉除け泥除け蔭の臺を摘む
八王子市 松浦 サク

黒猫の旗吹雪かるる映の宿
寺尾 白井すみい

三光丸入替え風船くれにけり
新町 若山 向山

仁田 戸田 貞

木の根元ぐるりと雪の消えており
地の青き空の蒼きやいぬふぐり

野口 野沢 静江

雪融けの瀬音の高き信濃川
木落 丸山 詩朗

いち早く困い外せる厨かな
山野田 藤田ひろ志

おそ咲きの梅匂いけり彼岸晴れ
まんさくを手折りてもどる凍渡り

野口 五十嵐トラ

犬にくる注射の知らせ春めける
膝病みの医よりも効くと青き踏む

野口 野沢 寅生

昏れなすむ山紫に弥生かな
訪づれるさくら前線ニュース聞く

上町 高橋 願似

配給の頃の目刺の偲ぶる、
新町 井川 亘

赤谷 登坂 酔月

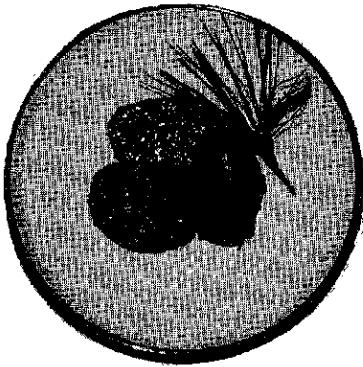
かります。

この用途地域及び都市計画道
路について、図面の縦覧がいつ
でもできます。建築物の新築
改築の予定がありましたら、あ
らかじめ役場建設課都市計画係
にご相談ください。

(☎六八三二二二)

(有線 二二二三)

粉豆腐



■材料

- ・粉（うるち米6に対し、もち米4の割合で粉にしたもの）
- ・打ち豆300g（5人分）

■調味料

- ・出し汁2カップ ・酒大サジ4
- ・砂糖大サジ4
- ・しょう油大サジ4
- ・揚げ油適当

■調理方法

- ①打ち豆を熱湯2カップで20分浸す。
- ②粉に①をよくこね、棒状にして1cmくらいの厚さに切る。
- ③切ったものを油でキツネ色に揚げる。
- ④たっぷりの調味料で15分くらい煮詰める。

手軽にキツネ色にする豆腐の味⑧

届出の必要な土地

次の一定の面積以上の土地取り引きをしようとするときは、国土法によりあらかじめ知事に届け出なければならないことになっています。

個々の土地取引面積は小さくても、合計して一定面積以上になる一団の土地に対しても届け出が必要です。

- 千手・上野・橋地域の都市計画区域

5,000㎡以上

- その他の区域

10,000㎡(約1町歩)以上

こんな場合は、事前に届け出が必要です

契約をしようとするときは、取り引きの当事者（売買の場合であれば売主と買主）は、取り引きの予定価格や利用目的を記入した知事あての届出書を、契約を結ぶ六週間前までに役場に届けてください。

※届け出に必要な用紙は、役場にあります。詳しいことは、開発課振興係にお尋ねください。

- 売買
- 代物弁済
- 交換
- 共有持分の譲渡
- 営業譲渡
- 地上権・賃借権の設定、譲渡
- 譲渡担保
- 予約完結権・買戻権などの譲渡

健診を受けて健康管理を!

脳卒中・心臓病・糖尿病などの成人病の多くは、生活の仕方が原因で起こるといわれています。食生活・運動不足・ストレス・過労など、毎日の生活習慣が積み重なって、やがては発病するというわけです。

町民の皆様からご協力いただいている「受診状況アンケート」では、脳のレントゲン、循環器系の健診については、表1のようになっています。健康診断を受けることで、隠れている病気の芽を見つけ出すことができます。

住民検診結果では、異常なしの人が年々減少し、要指導・要医療の方が八五%となつていまい。医療の方が八五%となつていまいので、ぜひご利用ください。

健康状態を継続的にチェックし、健康管理に役立てていただくことと、住民検診結果の説明会や、ヘルスアップ教室を開催しています。そこでは、方歩計をつけて毎日歩いている人、うす味にしている人、禁煙した人、バランス食を心掛けている人などに会います。自分の健康づくりのため努力されている姿に、継続の励ましを行っています。

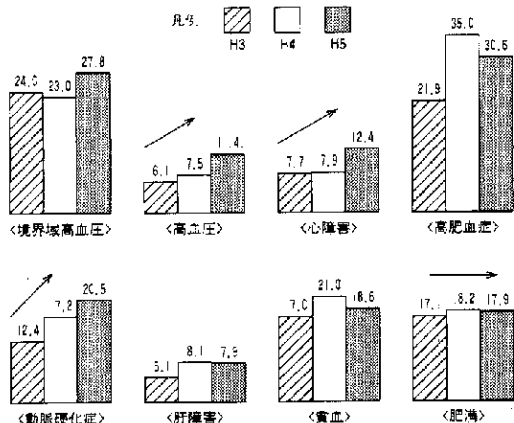
健診は、忘れずに受けましょう。また、厄年・還暦対象者に、無料受診券が交付されます。

表(1) 受診状況アンケート結果(H4・回収率94.4%)

住民検診	要指導	要医療	無回答
42.4%	26.2%	37.5%	5.3%

表(2) 住民検診結果

年次	異常なし	要指導	要医療
H3年 2,390人	26.2%	36.3%	37.5%
H4年 2,274人	9.1%	41.6%	39.3%
H5年 1,885人	4.7%	41.2%	44.1%



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

片桐 徳也 裕子 長男小白倉

大久保省悟 克美 長男野口

桑原 岬安雄 長女新町新田

高橋 遼馬 俊一 二男上町

江口 恭平 正則 二男新町新田

たかさご—ご円満に

滋野 健一 野口 小千谷市から

井川 貴光 新町新田

小林 歩 十日町市から

高橋 俊朗 伊友

竹内 ゆかり 十日町市から

庭野 秀樹 十日町市から

平野 旬子 東善寺

五十嵐 義典 野口

大嶋 美幸 上野から

昇天—ごめい福を祈る

丸山キヨノ 70(新吾)木落

太田 長栄 79(本人)中央町

春日 ひさ 85(昇)仁田

星名 トミ 85(松太郎)沖立

中条 惣司 86(誓一郎)四郎兼

長谷川理文 93(三代治)大白倉

高橋 コノ 97(晴夫)学校町

(3月1日/31日届け出分)

4月1日から「松葉荘」は 第三セクターで管理運営

地域休養施設「松葉荘」は、地域の振興と町民の心身の休養などを図るため、新農業構造改善事業で整備され、昭和五十八年九月にオープンしたもので。以来十年、町直営という形で管理をしてきました。しかし、行政的手法でこの種の施設を経営するには限界もあり、建設当初から、いずれは第三セクター方式

でということ、諸情勢を見ずえてまいりました。

この度、その機が熟し、四月一日から、「松葉荘」を民活の力でより一層効率的に高め、利用者ニーズにこたえる経営を目指すし、町活性化拠点施設とすべく、(株)松葉荘により管理運営されることとなりましたので、お知らせいたします。

ちいさな展覧会

69

橘小学校



2年 村越藍子さん



3年 藤巻 希さん



5年 野沢佳子さん



6年 野沢佳代さん



4年 和久井早苗さん



1年 やまがゆうへい 君

※学年は3月当時のものです。
(5月号は仙田小学校です)